## 致道博物館 記念特別展 第4部

## 藩祖 酒井 忠勝

4

00石を与えられました。 は14万石となりました。 酒 これにより、庄内藩の表高 丸岡領1万石を与え、庄内 ました。幕府は忠広へ庄内 圧内藩へお預けの身となり 正の子)が突然改易となり、 熊本52万石藩主加藤忠広(清 井忠勝は、国元へ戻るたび 潘は代わりに左沢1万20 に何度も忠広を訪ね、親交 寛永9 (1632) 年、

> 指定文化財(史跡)となっ 葬され、その墓碑は鶴岡市 ました。鶴岡・本住寺に埋 3) 年6月、忠勝の子・忠 は21年後の承応2(165 を深めたといいます。忠広 当に看取られながら逝去し

その後、忠重は庄内藩の客 重は自石領を没収されます。 うになりました。 分として暮らし、忠勝の信 頼のもと、藩政に関わるよ

を廃嫡し、自分の子・九八 忠重は忠勝の嫡子・忠当

> 逆鱗に触れ、高力一族では 高力喜兵衛らが藩主忠勝の やがて家老の高力派と対峙 言動が目立つようになり、 のうち4~6万石を分知し いさせようとする恣意的な す。忠勝と忠当とを仲たが に画策したといわれていま て新たな藩主を立てるよう

ましたが、正保4(164 重の発言力はさらに高まり 追放されてしまいます。忠

その後、忠重は下総国で夜 りましたが、忠当の岳父で に2万両を与えて義絶し、 守)のとりなしにより穏便 老中首座の松平信綱(伊豆 易)を受けることも多くあ ています。このようなお家 盗に襲われ横死したとされ 騒動は幕府からお咎め(改 に済まされたようです。そ 藩主となった忠当は忠重 亀代姫が興入れしていま り、5代・忠義の奥方に信 器の奥方に同家(信明娘) 綱の孫・諏訪姫が、10代忠 後も姻戚関係をもってお 守へ諮ることが多かったと の後も圧内藩の治世は伊豆 いいます。松平家とはその

間豊 (致道博物館学芸部長・本

## 一配流と長門字

は「清正公祭」を催行し、 となりました。 ています。毎年7月24日に なお、その後丸岡領は天領 どを展示公開しています。 清正・忠広の遺品や遺墨な

が起こり(白岩騒動)、忠 苛政に反発した農民の一揆 9石の領主でしたが、 その れるお家騒動が起こりまし た。忠勝の末弟・酒井忠重 「酒井長門守一件」と称さ (長門守) は自岩領800

酒井家庄内入部400年

忠勝の晩年には、のちに

郎を忠勝の娘と娶わせて藩 7)年の忠勝の病死をきっ 主とするか、庄内藩14万石 かけに失脚しました。



松竹梅柄鏡 **銘藤原光重**(酒井忠重所用)

酢漿草紋



加藤忠広・生母正広院の墓碑(鶴岡市三光町・本住寺